

ルカ18：18-23を一人の生徒に読んでもらい、ここで救い主と話した男性は、奉仕を求められたブリガム・ヤングの反応とどのように異なっていたかを見つけてもらいます。

- あなたが主について知っている事柄で、ブリガム・ヤングのように進んで犠牲を払う助けとなることは何ですか。
- わたしたちの場合、伝道に出るほかに、主に仕えるためにどのような犠牲を払うことを主は望んでおられるでしょうか。

主に仕えるために進んで犠牲を払うことについて、あなたがどのように感じているかを生徒に伝えます。

話し合い3

ブリガムのイギリスでの伝道

まず次のような質問をします。

- 宣教師が主の助けを必要とする理由は何があるでしょうか。

以下を読むか、要点をまとめます。

再婚し、さらに伝道に5度出た後、ブリガムはほかの使徒とともにイギリスで伝道するよう召されました。

ブリガムは自分の伝道について次のように説明しています。



「わたしたちは『外国の寄留者』として、一文なしでやって来ました。しかし神の憐れみにより、わたしたちは大勢の友人を得、イギリスの王国の名だたる町や市のすべてに教会を設立し、7,000人から8,000人にバプテスマを施し、5,000冊の『モルモン書』……を印刷しました。……永遠の真理の種を何千何万の人々の心に残すことができました。……これらのすべてに神の手があったのです。」（『歴代大管長の教え—ブリガム・ヤング』6）

一人の生徒に、アルマ26：12-13にあるアンモンの言葉を読んでもらいましょう。それから以下の質問をします。

- ブリガム・ヤングの言葉はアンモンの言葉とどのように比較できるでしょうか。
- 主に仕えようと努力するときに、主に頼ることが不可欠なのはなぜだと思いますか。
- 主に仕えるとき、あなたはこれまでどのように主に頼ろうとしてきましたか。

主に仕えるときに主に頼ることについて、あなたの考えや気持ちを分かち合ってください。